

～01. 今後の自治・まちづくりに対する意気込みや決意などが寄せられました。～

【市の考え方等】

市では、上越市をよりよいまちとしていくためには、自治の担い手である市民・市議会・市長の三者がこの条例を共有し、それぞれの役割を果たしながら、今後の自治・まちづくりに取り組んでいく必要があると考えています。

そのため、今後も条例を踏まえた市政運営を推進していくことはもとより、出張説明会を実施するなどにより、こうした機運を盛り上げていきたいと考えています。

また、こうした機運の醸成には、市民の皆さんによる情報発信や実際の活動が何よりも大切な事であると考えていますので、フォーラムにご参加いただいた皆さんからも、ぜひとも、この条例やフォーラムについて地域や身近な皆さんの間での話題として取り上げていただくとともに、皆さん自身による今後の自治・まちづくり活動に結び付けていただきたいと思います。

【寄せられたご意見・感想等】

No	内容	年齢	性別
1	<p>地域協議会委員の一人として、また住民自治組織の一員として「まちづくり」を進める上で、自治基本条例が施行されたこと、主権者が市民であることなど、事あるごとに広めていくよう心がけるつもりです。</p> <p>自身が内容を熟知し、集会の度ごとに話題の一つとして取り上げていこうと思っています。</p> <p>与えられた権利を正しく行使できる市民を一人でも多く仲間に加えることで住民自治、協働の精神が高まり、上越市の自治全体のレベルアップにつながるものと考えます。</p>	60代	男性
2	<p>少子・高齢化の進む上越市民の一人ひとりの住みやすいまちづくり、安心・安全なまちづくり、夢と希望の持てるまちづくりに参画したい。</p>	60代	男性
3	<p>町内の自主活動を通して、健康のための運動クラブ（高齢者）の顔の見える集まりを通して、地域交流が進んできた。行政、大学、地域の協力が地域に活力と元気が見えてきた。</p> <p>地域からの提案に対して、協力していただけることは大きな力になっていることを実感し、本日の話でよかったと思っています。</p>	60代	男性
4	<p>地域協議会ってあってもなくても一緒、いやもしかしたらなくてもいいんじゃないの？と思っていましたが、やっぱり必要だということ、そして、心の持ち方（考え方）が重要であると今日感じました。</p>	40代	女性
5	<p>高齢化の進む地域ですが、高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりのために地域自治区制度を十分活用したまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。</p>	40代	女性
6	<p>市民が自治基本条例の中で、制定されているような市民になるには大変な時間がかかると感じた。</p>	40代	男性

7	市民の自覚、市民力がないと立ち行かなくなることが分かった。活動団体のネットワークがますます大切である。	50代	男性
8	4月1日に施行されていたが、内容の把握をしていなかった。自分たちが住む町に関係する事なのに知ろうとしなかった事を反省させられた。直接行使できる市民投票制度大いに期待します。	50代	女性
9	自治基本条例施行を喜ぶべきだと思うのですが、反面あまりに責務ということが出てくると地域自治にかかわっていく住民は不安(戸惑い)を覚える。時間が必要だと思う。	60代	女性
10	NPOや市民活動に参加しているので、そういった活動を通じて、まちづくりに貢献していきたい。また積極的に市政に意見を述べていきたい。	20代	男性
11	自治基本条例の制定がゴールではなく、むしろスタートであり、条例をいかに守り、活用していくかということこそが最重要課題であることを認識する機会となりました。	20代	男性
12	市民に地方自治の自覚を促すよいチャンスとなった。 この条例に「市民が登場しなければ」という話があったとおり、これからは一市民として関わってゆきたい。	60代	男性
13	現在活動している「環境関係」について、関連付けられたらベターと考える。周囲の皆さんへの働きかけが出来ればよいと思う。	50代	男性
14	市民がもっと多くこんなフォーラムの場に参加できる場を多くしたいし、機会をとらえて話をしてみたいと思う。 町内諸行事に対し、参加率を高める為に、本条例の趣旨を自己の念頭におき、高めたいと思っている。	70代	男性
15	市民や市議会、市の職員など、それぞれの立場はありますが、住みやすいまちづくりを目指し、活発な意見交換ができると良いと思います。 市や市民団体の勉強会やイベントがあれば積極的に参加したいと思えます。不満を言うだけでなく、皆で話し合いながら解決していけるまちになると良いです。	20代	女性
16	作成に関わった方々の自己満足にならない様にする為、末端の市民からの要望を取り上げて欲しい。町内毎にその場を持つよう働きかけたい。	60代	男性
16	地域コミュニティ活動とどう結びつけるか考えたい。	60代	男性
17	「住民自治」として日常の生活の中で実践されることを期待する。「市民対話」を重ねる中で都市内分権が充実されるよう努めたい。	60代	男性
18	自分たちで参加していきたい。身近な条例であり頑張りたい。まちづくりに取り組んでいきたい。	60代	
19	まちづくりや町内会方針に役立てたいと思います。	60代	
20	同じことをしようとした場合、行政・地域協議会、まちづくり振興会、地域の自治の担い手各々は、役割が違う。例えば、各々が同じタイトルで記事、広報を書こうとすると、語尾が違う、言い回しが違う、視点が違うなど、役	30代	男性

	<p>割が違うことから相違点が出てきます。</p> <p>この点に着目し、活用したい。行政ができないことは地域協議会でできる、まちづくり振興会でできる可能性がある。もちつもたれつ。</p>		
21	自治の基本～市民生活の基本を洗い出した条例を「見直し」で考えたい。	80代	男性
22	無関心が一番良くないと思ったので、何事にも関心を持ち、積極的に市政の情報を収集し、それを活かしたり、また、参加しようと思った。	20代	女性
23	環境問題に取り組みたいです。	60代	男性
24	<p>「みんなで創ろう、わたしたちのまち」このコンセプトが広く深く浸透して、上越市が創られていくことができたらよいと思います。</p> <p>山の中に住んでいますが、棚田や雑木林等暮らしの基本として、また、それを発信することで自分たちの自信と誇りを持ちたい。</p>	50代	男性
25	遠くばかり見ずに足元の出来ることから一つひとつする事がまちづくり、人づくり、心づくりだと思いました。	50代	女性